

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091
【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp
【HPアドレス】
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2015.11
第23号



第1回

国分寺市・坂戸市
合同企画展

東山道武蔵路を探る

「路」の字：坂戸市宮町遺跡出土「路家」墨書より

～路でつながる古代の国分寺と坂戸～

ごあいさつ

今から1400年前の7世紀、日本は中央集権国家を目指し、変革の時代をむかえます。変革の内容は多岐に渡りますが、その一つに都と地方を結ぶ幹線道路（官道）の整備があげられます。

かつて、国分寺市と坂戸市は、南北に縦走する「東山道武蔵路」と呼ばれる官道で結ばれていました。当時の人々は、それらを介して密接に関わりをもちながら歩んできた歴史があります。

本展は、国分寺市と坂戸市で調査された、東山道武蔵路をテーマとして取り上げ、連携事業として開催いたします。様々な出土資料をとおして、両市の歴史と文化の一端に触れていただければ幸いです。

本展開催にあたり、ご協力いただきました関係者各位に深く感謝申し上げます。

平成27年11月

国分寺市教育委員会 坂戸市教育委員会

坂戸市会場

- 会場 坂戸市立勝呂公民館 1階ホール
(埼玉県坂戸市大字石井 1526)
- 期間 **平成27年11月1日(日)～12月17日(木)**
- 開館時間 午前8時30分～午後10時
- 入館料 無料
- お問い合わせ先 坂戸市立歴史民俗資料館
TEL 049-284-1052

国分寺市会場

- 会場 武蔵国分寺跡資料館講座室
(東京都国分寺市西元町 1-13-10)
- 期間 **平成28年1月16日(土)～3月13日(日)**
- 開館時間 午前9時～午後5時 (入館は4時45分まで)
- 入場料 おたかの道湧水園への入園料
一般…100円 (中学生以下無料) 無料
- お問い合わせ先 武蔵国分寺跡資料館
TEL 042-323-4103



坂戸市大字塚越
馬場遺跡3区【上が北】
(坂戸市教育委員会提供)



国分寺市泉町
東山道武蔵路跡【上が北】
(武蔵国分寺跡資料館蔵)

奈良時代に建立された武蔵国分寺（国分寺市）の堂宇に使用された瓦と同じものが、同じ武蔵国内の勝呂廃寺（坂戸市）から出土するなど、両地域は古来より深いつながりを持っていました。企画展では、両市内のこれまでの東山道武蔵路の発掘調査の成果を主にパネルで紹介します。（増井 有真）



■ 展示パネルの内容 ■

- ◇いにしへの古代道路
- ◇東山道武蔵路ってなあに？
- ◇直線道路をつくる！
- ◇発見！東山道武蔵路

展示会場では、本企画展のリーフレット（全8頁）を無料配布します。（※数に限りがあります）

市内総合文化財調査を推進しています

— 予備調査のあらまし (中間報告) —

§ 調査のねらい

教育委員会では、これまで市史編さんによる古文書調査や史跡等の調査を進めてきましたが、市内には、様々な分野の未だ把握されていない文化財が数多く埋もれているものと思われます。

こうした文化財が知らず知らずのうちに失われてしまう前に、その所在や現状を余すことなく把握することを目指して、平成 26 年度より市内総合文化財調査を開始しました。

§ 計画 (平成 25 年 8 月策定) のあらまし

- (1) 方法 予備調査を実施した上で、本調査を実施
- (2) 期間 平成 26 ~ 30 年度までの 5 年計画
 - 1 年次 予備調査
 - 2 年次 本調査第 1 年次 (史跡・名勝・天然記念物)
 - 3 年次 本調査第 2 年次 (無形文化財、無形民俗文化財)
 - 4 年次 本調査第 3 年次 (有形文化財、有形民俗文化財)
 - 5 年次 総括整理、調査報告書作成
- (3) 体制 文化財保護審議会の指導・助言のもと、文化財調査専門員及びふるさと文化財課職員 (学芸員) により、市民の協力を得て実施

§ 予備調査の主な対象と体制

- (1) 対象 全ての分野の文化財のうち、次の条件をもつものとししました。
 - ① 国分寺市の区域内に存する文化財のうち、市の歴史及び文化を知る上で必要と認められるもの
 - ② 国分寺市の区域内に存する文化財のうち、原則として、当初の製作・築造、由来等から、おおむね 50 年以上経過しているもの
- (2) 体制 以下の文化財調査専門員を配置しました。
 - ① 美術工芸・彫刻分野 (日本彫刻史)
副島弘道 大正大学文学部教授
久保田綾 大正大学大学院
 - ② 石造物分野 (近世宗教考古学)
松原典明 石造文化財調査研究所代表
 - ③ 建造物分野 (建築史学)
藤井恵介 東京大学大学院教授
 - ④ 名勝・天然記念物分野 (植物学)
福嶋 司 東京農工大学名誉教授

§ 調査結果のあらまし

- (1) 第 1 次調査 全分野対象調査
文化財調査まち歩きを 3 回 (参加市民の延べ人数 18 人) 実施しました。
- (2) 第 2 次調査 重点分野選定調査 【未了】
- (3) 第 3 次調査 文化財集中地域選定調査 【未了】
- (4) 第 4 次調査 既往調査の成果の整理等 【未了】



文化財調査まち歩き (恋ヶ窪地区)

(5) 各分野ごとの調査

① 美術工芸・彫刻分野 【終了】

市内寺院 6 か寺において、主に近世末までに^{ぞうりゅう}に造立された彫刻作品を計 87 躯、11 個を確認しました。

国分寺 木造薬師如来 (12 世紀) 及び両脇侍像 (江戸時代) ほか 17 躯、11 個

東福寺 木造大日如来坐像 (江戸時代) ほか 5 躯

満福寺 木造地藏菩薩及び俱生神立像 (室町~江戸時代) ほか 26 躯

祥応寺 木造釈迦如来坐像 (江戸時代か) ほか 17 躯

鳳林院 木造釈迦如来及び両脇侍像 3 躯

観音寺 木造観音坐像 (江戸時代か) ほか 19 躯

② 石造物分野 【終了】

路傍の石仏や社寺の狛犬等、句碑、記念碑などの石造物が現状で 692 基が遺存していることが確認されました。このうち、紀年銘から近世以前とできるのは 190 基程度に限られると思われます。ほかに、近世墓石や墓塔等について、現状で 33 か所の地点に 1,158 基が遺存していることが確認されました。

③ 建造物分野 【未着手】

④ 名勝・天然記念物分野 【中央線以南未了】

通常望見出来るものを対象とし、各社寺や古民家周辺、街道周辺、崖線周辺を訪問し、目視により、現状における概況把握調査を行い、五日市街道沿道、西町崖線縁辺部、観音寺周辺並びに恋ヶ窪周辺における保存樹木、名木保存樹林地、屋敷林並びに^{しゃそう}社叢等の状況が確認されました。

⑤ 史跡分野 【未着手】

§ おわりに

平成 26 年度は、本調査に先立つ予備調査の実施年度で、以上のように、一定の成果を得ましたが、調査の終了には至りませんでした。

平成 27 年度は本調査に向けて、関係する情報を収集し整理しています。

(福田 信夫)

Mobile Exhibition

武蔵国分寺跡資料館巡回ミニ展示



武蔵国分寺跡資料館で行った平成 27 年度夏季企画展『国分寺市の戦争記録』の巡回ミニ展示を 10 月 23 日（金）から開催しています。太平洋戦争に関する遺品や記録資料を展示しますのでこの機会にぜひご覧ください。

【展示期間】 平成 27 年 10 月 23 日（金）～

【観覧時間】 駅ビルの休館日、元日を除く毎日 午前 9 時から午後 10 時まで

【展示場所】 国分寺 L ホールショーウィンドウ（国分寺市南町 3-20-3 駅ビル 8 階）

国分寺市の戦争記録



特別天然記念物のトキのはく製 常設展示



市制施行 50 周年を記念して姉妹都市である新潟県佐渡市よりトキのはく製が貸与されました。平成 26 年 11 月に行われた国分寺まつりで佐渡市長より貸与の表明を受け、平成 26 年 11 月 19 日に佐渡市・国分寺市の両市長による貸与式が行われました。

平成 27 年 1 月 19 日に当館でトキのはく製展示式が行われ、翌 20 日から一般公開しています。

佐渡市の皆様が大切に保管されてきたこのトキのはく製は、全国で 30 体ほどしかない貴重な純日本産のうちの 1 体です。

【展示場所】 武蔵国分寺跡資料館 展示室 2



NEWS

文化財愛護ボランティア養成講座（認定式）



平成 27 年度ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座（全 6 回）を 7 月 30 日から 9 月 17 日までの期間に実施しました。今年度は、当館講座室ともまち地域センターでの学習講座や史跡地での実地学習を行い、史跡ガイドボランティア及び文化財普及ボランティアの合計 10 名の方を認定しました。

現在、認定された皆さんは先輩ボランティアに加わり、当館や史跡での案内活動を行っています。



認定式の様子

旧本多家住宅長屋門 保存修理工事のお知らせ

このたび、建物の老朽化のため、おたかの道湧水園の入り口にある旧本多家住宅長屋門の保存修理工事を実施することになりました。旧本多家住宅長屋門は江戸時代に国分寺村の名主を務めた本多家の屋敷に設けられていた門であり、当時の面影を伝える貴重な建造物として園内の倉とともに、国分寺市重要有形文化財（建造物）に指定されています。

今回の工事では、全解体の上で保存修理を行い、弘化5（1848）年「表御門御長屋仕様御注文」という古文書をもとに、創建当時の姿に建物を復元することを計画しております。

なお、工事期間中におけるおたかの道湧水園への入園は、長屋門東側に設置する仮入園口より行っていただくことになります。ご来園の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



【工事期間】平成27年11月～平成29年9月（予定）
【お問い合わせ先】 国分寺市教育委員会 ふるさと文化財課
 電話 042-300-0073



長屋門工事中の仮入園口案内図

来館者数

2009年10月18日～2015年9月末日

来館者数累計 88,599名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
7	612	27
8	717	26
9	1,084	26
計	2,413	79

【7月～9月の学校見学】

（学年）、（人数）、中＝中学生、高＝高校生、大＝大学生、院＝大学院生
 <市内> 鹿島学園高等学校（通信制課程）（17）
 <市外> 都立府中高等学校（高3）（9）、東京電機大学
 中学校・高等学校（小・中・高）（22）、東京農工大学
 （10）、創価高等学校（高3）（6）

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内 ※駐車場はありません

【電車】○JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】○国分寺市循環バス『ぶんバス』日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
 ○国分寺駅南口より『京王バス』系統番号<寺83>・<寺85>乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
 年末年始（12月29日から1月3日まで）
 ※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
 一般……………100円（年間パスポート1,000円）
 中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページQRコード